

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(7/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値に IIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
関西イノベーション国際戦略総合特区(大阪府等)	正	C 3.1	C 3.2 進捗度 ・世界における輸入医薬品市場シェアの拡大 80% ・関西のリチウムイオン電池の輸出額 102% 等	B 3.9 規制の特例等 ・医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化 等 財政支援等 ・投資促進税制支援 26件 ・国際戦略総合特区支援利子補助金 11件 等 地域独自の取組 ・「大阪バイオファンド」によるベンチャー支援 等	-0.43	<p>・客観的には、大きな成果が期待できる状況には達していない(※1)。 ・最も多様な分野を抱えている特区であるが、当該年度の分野毎の具体的な成果をコンパクトに説明する必要があるだろう。 ・<u>一般的な研究は進んでいる(※2)が、実用化の段階で停滞している。その克服の道筋が具体的に示される必要がある。</u></p> <p>(※1) 世界における輸入医薬品市場シェアについて、2010年の実績値(1.2%)に対し、2013年の実績値(1.15%)が低下し、また、世界における輸入医療機器市場シェアについても、2010年の実績値(0.9%)に対し、2013年の実績値(0.72%)が低下している。</p> <p>(※2) 臨床研究中核病院等で実施されている臨床研究数は、2010年の582件から2013年には1,091件に増加している。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。